

LPガスCP速報(2019年1月積)

1. 1月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **430** ドル (前月比-15 ドル)

ブタン **420** ドル (前月比+5 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が急落するなか、クリスマス・年末年始休暇を迎え需要期入りも市場は様子見、スポット市況は原油に連れ安後、堅調推移となった。

中東市場は、暖房需要期に入りターム契約需要が堅調、1月以降のOPEC協調減産で原油生産量が減少しLPG生産・輸出も削減、サウジのスポット販売に余剰感は少ない。このためCP先物市況は先安感が緩和、3月ものまでほぼフラット、プロパン、ブタン格差も15 ドル 程度に縮小している。極東CFR市況は、第3週にはプロパン455~435 ドル 、ブタン450~430 ドル に軟化、フレート市況(中東~日本)は、バンカーC重油の急落もあり軟化、需給緩和感から40~36 ドル 台で推移した。

米モンベルビュープロパンスポット価格をみると、原油市況の急落を受けてスポット価格も軟化、第4週には338~333 ドル どころで推移(グラフ②)、月間平均では350 ドル どころで前月比37 ドル の下落。全米プロパン在庫(グラフ①)は、寒波到来で需要が増加、輸出も堅調で減少が続いているが、5年平均のレンジで推移している。

ナフサは原油に追随し大幅続落、月間平均は483 ドル 、前月比51 ドル の下落。バンカーC重油は原油に連れ急落、月間平均で367 ドル どころ、前月比77 ドル 安。

1月CPは前年同月比プロパン160 ドル 、ブタン150 ドル それぞれ低い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン9ポイント、ブタン13ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン25ポイント、ブタン23ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	37.7	38.1	36.0		
CP先物指標:P	460	435	400		
CP先物指標:B	445	420	385		

② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、12月中旬は50 ドル 台を維持していたが、17日に50 ドル を割り込み、24日には年初来安値を更新し昨年6月以来の水準、ボラティリティ(変動率)が高まっている。OPECプラスは120万b/dの協調減産で合意、リビアのエルシャララ油田が武装勢力に占拠されフォースマジュールを宣言(不可抗力条項)するなど供給懸念もあったが、米中貿易戦争、世界景気の減速による需要減退懸念、米、サウジ、ロシアの増産とトランプリスク(政府機関一部閉鎖等)による世界的な株価急落を契機にリスク資産の原油も売り込まれた。

一方、米国内原油生産量は、シェール増産により過去最高を更新し1,170万bまで増加、原油輸入は720~760万b/dの低水準、11月最終週には原油輸出は増加し320万bの過去高を記録し瞬間的に石油製品と合わせたネットで輸出が輸入を上回った。製油所稼働率がこの時期としては20年ぶりに高い水準となり、全米原油在庫は4週連続の減少となったが、前年を上回る高水準。なお、米石油リグ稼働数は28日で885基、2015年2月以来の高水準。

NYMEXのWTI総取組高は、203~210万枚で推移、大口投機玉の買越残高は30万枚と前月末比3.9万枚減少2016年12月以来の水準に低下した(グラフ③)。株価急落からリスクオフ。大口投機玉の買越残はピークの2月から6割減、手仕舞い売りが進んだ。

○12月積みアラビアン・ライト(12月1~31日までで想定)は58.92 ドル (前月比-8.7 ドル)

熱量等価AL100% プロパン483.12 ドル/トン ブタン476.49 ドル/トン

AL比 プロパン89.01% ブタン88.14%

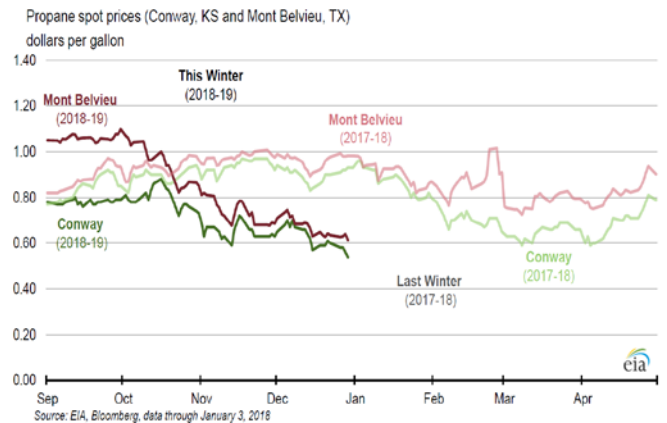
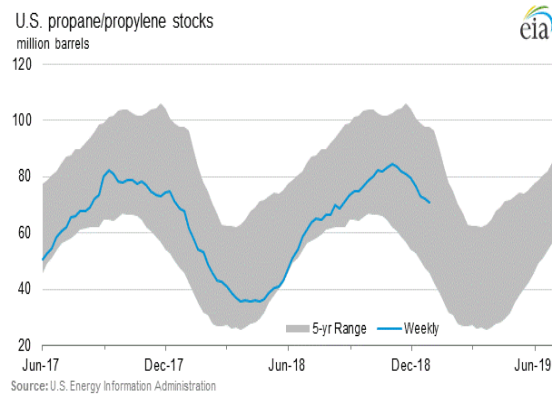
*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2019年1月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

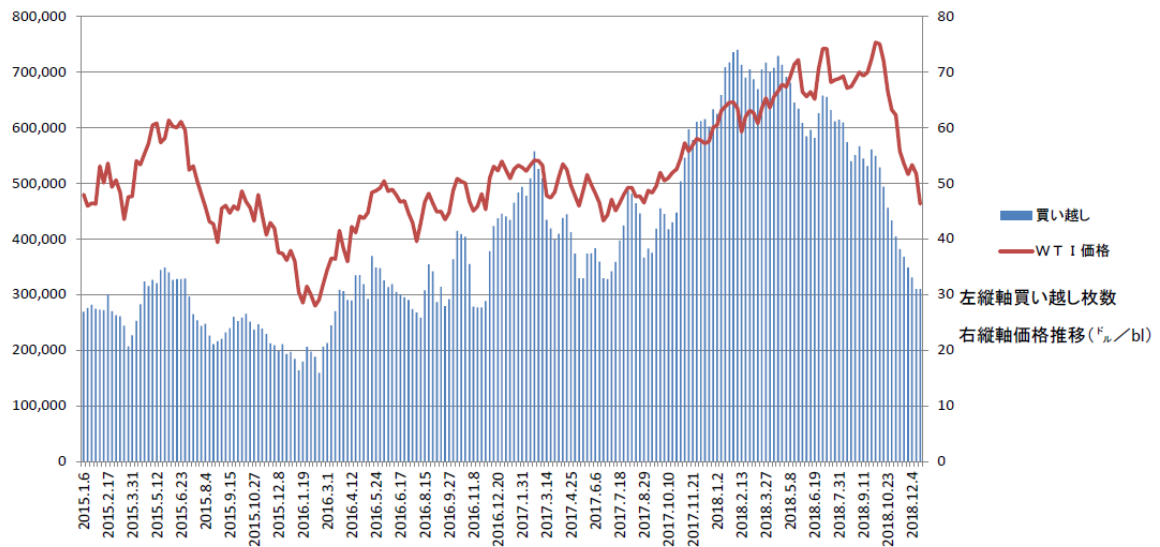
適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	114.18	55,700	53,400	56,400	-6,600	-6,300	-6,100
②末日締め	113.51	49,700	47,400	50,300	-6,600	-6,300	-6,000

* TTS平均について、①が11月21日～12月20日、②12月1～31日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは12月28日までの価格を基にEINで試算（350ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。



CFTC大口投機建玉買い越しポジションとWTI価格推移



出典：CFTC - OIL, LIGHT SWEET - NEW YORK MERCANTILE EXCHANGE Code-067651Commitments of Traders - Futures Only

グラフ作成：EIN